



株式会社フジ

第57期 報告書

2023年3月1日 ▶ 2024年2月29日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第57期(2023年3月1日～2024年2月29日)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

2024年5月

代表取締役社長 山口 普

当連結会計年度(2023年3月1日～2024年2月29日)におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動の正常化もあり、2023年10-12月期の実質GDP成長率が前期比年率0.4%増となるなど堅調に推移しました。一方で、物価高に起因する節約志向の高まりや、長引く残暑や暖冬等の影響を受けて個人消費は低迷し、加えて、12月の実質賃金が21か月連続減少の前年同月比1.9%減となるなど、くらしや事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

このような環境下において、当社および当社グループは、「お客さまと従業員の『圧倒的な安心とワクワク』を実現する」を経営ビジョンに掲げ、「現場重視」「従業員満足」「シナジー創出」を経営方針とし、変化するお客さまの行動に対して柔軟かつ迅速に対応する、最も地域に貢献する企業集団を目指しています。

第57期、当社グループである株式会社フジ・リテイリングとマックスバリュ西日本株式会社は、当社経営方針のもと、統合に向けてのこころあわせを行い、お客さまの視点に立って主体的に行動できる企業文化の構築を進めました。

業績については、快適なお買物環境の追求、多様化するニーズへの対応など、店頭のさらなる利便性と競争力向上を目指して、既存店の改装による活性化を24店舗において実施し、新規出店及び建て替えて7店舗を出店いたしました。また、お客さまの生活防衛意識の高まりに対応した価格対応等の取り組みの継続や、ニーズに合わせた付加価値商品の提案などを行った結果、食料品を中心に売上高は堅調に推移し、営業収益は過去最高となりました。賃上げの実施により上昇した人件費は未来への積極的な投資と捉える一方で、統合シナジー効果の創出によるコスト低減に加え、プロセスセンターの活用やデジタル化の推進などによる生産性の向上に取り組んだことで、販売費及び一般管理費は増加するも、営業収益の伸長により営業利益・経常利益ともに増益となりました。

当社は、新たに2024-2026年度の3カ年中期経営計画を策定しました。企業スローガン「地元を、新しいつながりを。」を掲げ、3つの基本戦略に加えて、より高いレベルのESG経営を推進することで地元の未来に貢献する企業集団を目指します。当社は、これまで以上に中国・四国・兵庫エリアの地域とお客さまのくらしに密着し、より豊かなくらしづくりを実現してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月、新生フジをみんなとともに創り上げていくために
わたしたちが目指すべきありたい姿、提供価値をメッセージとして発信しました。

新企業スローガン

地元を、新しいつながりを。

スーパーマーケットとして、いくつもの時代の壁を超えてきた私たちに、
もう一度、超える時がきました。

ネットやデジタル化によって、街はどんどん進化しています。

だけど、人と人の「つながり」、地元の「つながり」は、

ちゃんと進化しているのでしょうか。

おじいちゃんも、おばあちゃんも、若者も、子育て世代も、みんながちゃんとつながっている。

それが、地元のやさしさであり、強さだから。

私たちは、モノを買う以上の新しい体験で、地元みんなのつながりを進化させます。

お買い物だけでなく、お店にふらりと来てほしい。

新しいコミュニティなんていうと堅苦しいけど、地元みんなでおしゃべりをしたり、

一緒に街のことを考えて、新しいドキドキやワクワクを生み出していく。

中国・四国・兵庫。地元を想う仲間と、お客さまとも一緒に、みんなであつなっていく。

私たちの新しい挑戦は、もうはじまっています。



新生“フジ”未来へのあゆみ

これまで互いに育んできた文化や風土をまもりながら、経営理念を基本に、お客さまに選ばれる企業として「商品」「売場」「サービス」、これらを支える「人」にさらなる磨きをかけていく必要があります。
地域の皆さま、そしてお客さまから「このお店があってよかった」と思っていたただけるよう、企業文化の確立を推進していきます。

経営理念

私たちは、豊かなくらしづくりを目指します。
私たちは、地域社会の発展に貢献することを目指します。
私たちは、人々を大切にすることを目指します。

ビジョン

お客さまと従業員の『圧倒的な安心とワクワク』を実現する
～最も地域に貢献する企業集団へ～

経営方針

現場重視

地域のお客さまに圧倒的に支持される店舗づくり

従業員満足

互いの垣根を無くし、一人ひとりが企業の使命感と誇りをもって働く集団へ

シナジーの創出

マスメリットの追求による強固なプラットフォームの構築

新企業スローガン

地元に、新しいつながりを。

経営理念、ビジョンをより具現化させるための指針として、新生フジの企業スローガンを策定しました。このスローガンは、企業も屋号も働く地域も異なる従業員49名が集まり実施した、ブランドセッションでの話し合いから誕生しました。店舗とお客さま、そして新しい仲間…新しいつながりを大切にしながら、一丸となって新生フジを創り上げていきます。



2023年6月からスタートしたブランドセッション。お互いの違いを受け入れながら実施した“未来に向けたモノづくり”が、ついに完成。新たなスタートを切りました。

《中期経営計画》

3つの基本戦略

1 企業文化の確立

- ① 「お客さま第一」「現場主義」の浸透
- ② ノウハウ・強みの相互活用
- ③ 多様性を尊重する風土づくり

2 既存事業の改革

- ① 既存店の刷新
- ② ノンストア事業の推進、新たなチャネルづくり
- ③ 業務DXの推進
- ④ 組織の再編・統廃合、スリム化

3 事業インフラの統合とシナジー創出

- ① MDの統合
- ② 顧客ID活用、マーケティング・販促の高度化
- ③ 事業インフラの統合と最適化
- ④ 備品・資材の調達統合

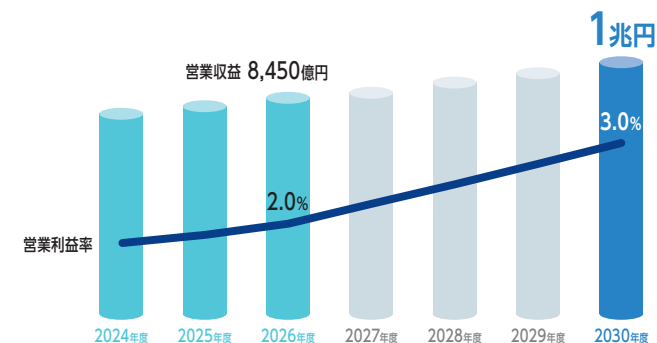
ESG経営の推進

～脱炭素社会の実現と地域社会への貢献～

- ① 環境(脱炭素、資源循環、生物多様性)
- ② 社会(地域、スポーツ・文化振興、ダイバーシティ)
- ③ ガバナンス(コンプライアンス、教育、体制)

主要目標数値(連結)

- 2026年度 営業収益 **8,450億円**
- 2030年度 営業収益 **1兆円**を目指す



	2026年度	2030年度
・ROE	4.1%	5.8%
・ROIC	3.7%	6.6%

2030年度 非財務面の目標

- ・CO₂排出量の削減 ▲50% (2010年度比)
- ・女性管理職比率* 30%

*管理職の対象は課長級以上

新生“フジ”の取り組み

1. フジ誕生祭を開催

3月1日(金)から「フジ」「フジグラン」「マックスバリュ」「マルナカ」「ザ・ビッグ」ほか全488店舗にて、統合記念セール「フジ誕生祭」を開催しました。

誕生セールは3週にわたって第3弾まで開催し、一つの会社として地域に根差すさまざまな屋号の店舗で、「価値」や「お得」な情報を発信しました。

また、新生フジ誕生を記念して3月1日には、お買物にお越しいただいたお客さまへ記念品を配布しました。



2. 記念商品を発売

新生フジ誕生にあわせて、当社バイヤーと地元メーカーさまが協力して開発したこだわりの記念商品を発売。当社にゆかりのある中国・四国・兵庫エリアを産地とする原材料を使用した「瀬戸内の恵 国産鶏のむね塩から揚げ」や、瀬戸内海産の海苔をふんだんに使用した「カルビー 厚切りポテトチップス瀬戸内海産のり味」などの、こだわりの商品を揃えました。



◎写真はイメージです。
Pasco
もちっと米粉入りパンケーキ



◎写真はイメージです。
瀬戸内の恵
国産鶏のむね塩から揚げ



◎写真はイメージです。
カルビー 厚切りポテトチップス
瀬戸内海産のり味



◎写真はイメージです。
彩り行楽弁当

3. 毎日の暮らしをサポート

新生フジにお越しいただくすべてのお客さまの、毎日の暮らしをサポートしていくために『3つの“お得”』と『3つの“価値”』の提供を開始しました。*

■ 3つの“お得”

「毎日が安い」を追求するために、毎日使う定番商品をいつでも納得いただける価格で提供し“毎日行きたくなる”暮らしに密着した価格の追求をしています。

■ 3つの“価値”

イオングループのスケールメリットを活かしたトップバリュの品揃えや、バイヤーこだわりの開発商品、厳選した機能性商品で、新生フジだからこそできる価値ある商品を展開しています。

<p>全カ プライス</p> <p>食料品から日用品まで 毎月ごとに 厳選商品を“全力値下げ”で ご提供します!</p>	<p>毎日が安い! お値打ち 価格</p> <p>毎日の暮らしに 欠かせない食料品や 日用品をお求めやすい 価格でご提供!</p>	<p>55 プラス ポイント</p> <p>ポイントがお得に貯まる!/ エフカ会員さま 対象商品お買上げで 基本ポイントにプラスポイント プレゼント!</p>	<p>55 円+ 値引</p> <p>対象商品のご購入の際に IAEONアプリクーポン ご利用で55円値引き!</p>
---	--	--	--

<p>TOPVALU トップバリュ</p> <p>イオングループの プライベートブランドです。 毎日の暮らしに新しい ワクワクをお届けします。</p>	<p>バイヤー 三ツ星</p> <p>開発商品や地場商品など バイヤーこだわりの 商品をお届けします。</p>	<p>活シリーズ 健康 美活 楽活</p> <p>5つの「健活」「美活」 「健活」「楽活」「環活」の テーマにあった機能性商品を 厳選し、商品の魅力を わかりやすくお伝えします。</p>
--	--	--

*ザ・ビッグ店舗では実施しておりません。別途お得な企画を実施しております。

4. 公認キャラクター

ハッピー・ショッピー・フジッピー

歌って踊れるマルチなサイ能の三つ子ちゃんのサイ「ハッピー・ショッピー・フジッピー」がこれからも大活躍!

イオンが提供する電子マネーWAONの公認キャラクター「ハッピーワオン」とおともだちの「エリン」とともに新生フジを盛り上げます。



新店舗情報

2023年9月～2024年2月に新規オープンした店舗をご紹介します。
地域に馴染みのある屋号、品揃えで3県に4店舗をオープンしました。

FUJI フジ志津川店

9/14

木



所在地/愛媛県東温市志津川南六丁目1番地1

伊予鉄道愛大医学部南口駅に近接する利便性の高い場所にオープンしました。「365日、笑顔の溢れる『私の街の』マーケット」をコンセプトに、誰もが安心できる“地域の笑顔と会話が集う場”を提供するとともに、お客さまと従業員の笑顔溢れる店舗づくりを目指しています。

FUJI フジ福山三吉店

11/16

木



所在地/広島県福山市三吉町4丁目1番8号

関係会社の㈱ニチエーから営業譲渡し、フジ福山三吉店として新たにオープンしました。お客さま一人ひとりの多様なライフスタイルに合わせ、食料品や生活必需品を取り揃えた、デイリーニーズにお応えする店舗として、毎日の「食」をサポートしています。

マルナカ マルナカ中府店

10/20

金



所在地/香川県丸亀市中府町2丁目7-8

店舗老朽化に伴い閉店した旧マルナカ丸亀店を建て替え、名称新たにオープンしました。お客さまの忙しい毎日でもご満足いただけるよう即食・簡便商品の品揃え強化や、手軽に新鮮な商品を楽しんでいただけるようお魚惣菜・肉惣菜売場を新設し、“食の楽しさ”を感じていただきます。

FUJI フジ今治店

11/25

土



所在地/愛媛県今治市小泉四丁目5番1号

1993年2月にオープンし、約30年にわたり地域の皆さまにご愛顧いただいたフジ今治店を建て替え、オープンしました。ファミリー層の多いエリアで、食料品を中心に日用雑貨品等の生活必需品や簡便・即食・時短商品の品揃えを強化し、お客さまの利便性・快適性を追求した店舗を実現しています。

サステナビリティ

持続可能な社会の実現に向け、地域ごとに行政や地元の皆さまにご協力いただきながら、さまざまな取り組みを行っています。

■フードドライブ

食品ロス削減の推進、地域社会との共生を目的に全216店舗にて、ご家庭の余剰商品を店頭へ持ち寄っていただき、関連支援団体を通じて子ども食堂や福祉団体などにお届けする「フードドライブコーナー」を設置しています。各県や行政およびフードバンク関連支援団体との包括連携協定の締結を進め、フードドライブコーナーの設置を拡大しています。また、スポンサー企業として連携しているプロバレーボールチームやプロサッカーチームの選手の皆さまにもご協力いただき、店頭で食品ロス削減の呼びかけを行うイベントも定期的実施しています。



■海ごみクリーンアップ・ボランティア

10月29日(日)に岡山県倉敷市沙美海水浴場にて「海ごみクリーンアップ・ボランティア」を実施しました。当社含むイオングループの従業員約100名と、地域の皆さま約150名で海岸に漂着したプラスチックごみ、マイクロプラスチック等の清掃活動を行いました。



回収したごみは、調査・集計を行い、ごみ発生の原因究明に活用いただけます。

■フードバンク活動にかかる連携協定を締結

11月7日(火)に兵庫県相生市と社会福祉協議会で「フードバンク活動にかかる三者連携協定」を締結しました。社会問題にもなっているフードロス削減や食糧支援が必要な方への支援等の社会課題解決を目指し、地域とともに取り組んでいきます。



相生市役所での協定締結式

連結財務諸表 (要約)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	31,800	37,182
受取手形及び売掛金	9,373	10,110
営業貸付金	393	411
商品	32,071	32,995
その他	16,393	11,549
貸倒引当金	△124	△115
流動資産合計	89,908	92,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	109,887	106,673
工具、器具及び備品	11,532	11,770
土地	114,641	114,223
その他	15,153	11,289
有形固定資産合計	251,213	243,955
無形固定資産		
投資その他の資産	27,829	26,262
投資有価証券	22,019	24,108
長期貸付金	307	298
繰延税金資産	14,158	14,510
差入保証金	18,086	17,832
建設協力金	3,165	2,565
その他	4,633	6,035
投資その他の資産合計	62,368	65,348
固定資産合計	341,411	335,566
資産合計	431,319	427,702

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,031	57,266
短期借入金	3,850	4,900
未払金	14,310	16,052
その他	60,461	53,866
流動負債合計	134,250	132,084
固定負債		
長期借入金	52,267	45,334
長期預り保証金	13,608	13,329
その他	21,805	20,858
固定負債合計	87,680	79,521
負債合計	221,930	211,605
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	22,000	22,000
資本剰余金	142,025	142,025
利益剰余金	41,370	46,201
自己株式	△376	△418
株主資本合計	205,019	209,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,391	4,553
退職給付に係る調整累計額	731	1,474
その他の包括利益累計額合計	4,122	6,028
非支配株主持分	247	260
純資産合計	209,388	216,097
負債純資産合計	431,319	427,702

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2022年3月1日～ 2023年2月28日)	当連結会計年度 (2023年3月1日～ 2024年2月29日)
売上高	755,397	771,123
売上原価	553,749	563,965
売上総利益	201,647	207,157
営業収入	29,570	29,898
営業総利益	231,218	237,056
販売費及び一般管理費	219,898	221,945
営業利益	11,320	15,110
営業外収益	2,752	3,025
営業外費用	712	761
経常利益	13,359	17,374
特別利益	4,745	234
特別損失	5,289	6,305
税金等調整前当期純利益	12,816	11,303
法人税等	3,769	3,852
当期純利益	9,047	7,450
非支配株主に帰属する当期純利益	13	14
親会社株主に帰属する当期純利益	9,033	7,436

フジホームページで
IR情報を公開しています。

[https://www.the-fuji.com/
company/ir/meeting/](https://www.the-fuji.com/company/ir/meeting/)



株主総会のサイトにて「第57回 定時株主総会」の動画を配信しております。

Point

営業収益

**営業収益は、8,000億円を超え、
過去最高を更新**

多様化するニーズへの対応や、更なる利便性向上に向けた既存店の改装を24店舗において実施。また、新規出店や建て替えで7店舗を出店。

Point

営業利益・経常利益

過去最高益を達成

原材料高騰による影響を大きく受けたものの、商品・在庫管理を徹底し、ロスの削減などの取り組みを通じ、昨年並みの荒利益率を確保。デジタル化の推進による業務の効率化、省力化による生産性の向上、自社プロセスセンター活用による店舗作業の軽減により、生産性の向上に取り組む。

株式の状況

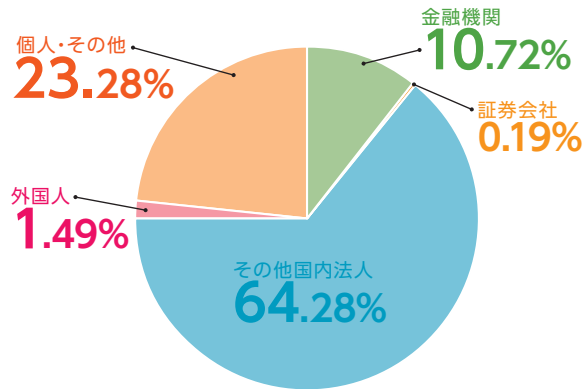
■ 株式発行状況

発行可能株式総数 130,000,000株
 発行済株式の総数 86,856,954株
 株主数 63,209名

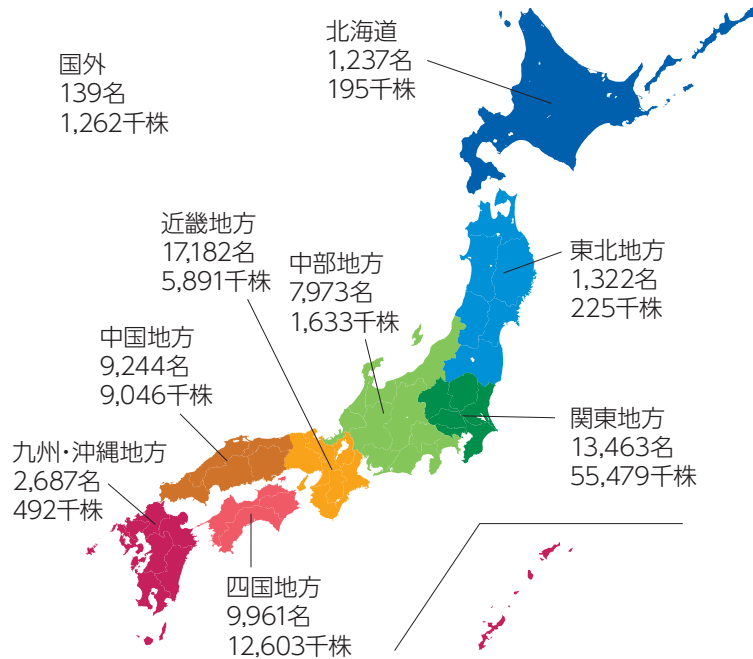
■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン(株)	43,992	50.6
(株)アステイ	3,977	4.5
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	2,688	3.0
フジ共栄会	2,494	2.8
フジ親栄会	1,658	1.9
(株)伊予銀行	1,166	1.3
(株)広島銀行	1,165	1.3
(株)愛媛銀行	1,165	1.3
(株)日本カストディ銀行(信託口4)	928	1.0
(株)日本カストディ銀行(信託口)	686	0.7

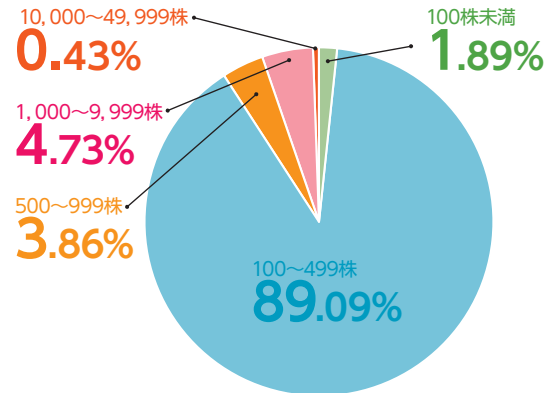
■ 株式分布状況 / 株式数



■ エリア別株主分布



■ 株式分布状況 / 株主数



株主優待制度について

当社の株主優待制度は、株主の皆さまへの日頃のご支援に対する感謝とともに、株主優待制度を通じて当社へのご理解を一層深めていただくべく、株主さまご優待券(値引き券)を中心に株主さまのご要望に沿った3つのコースをご用意しております。

ご優待制度の内容 ご所有株式数	Aコース 株主優待割引券	Bコース フジネット ショップポイント	Cコース 地域特産品
100株~299株	100円券×60枚 (6,000円分)		
300株~399株	100円券×80枚 (8,000円分)		
400株~499株	100円券×100枚 (10,000円分)	3,000円分	3,000円相当
500株~999株	100円券×120枚 (12,000円分)		
1,000株~1,999株	100円券×200枚 (20,000円分)		
2,000株~2,999株	100円券×400枚 (40,000円分)		
3,000株~3,999株	100円券×600枚 (60,000円分)	10,000円分	10,000円相当
4,000株~4,999株	100円券×800枚 (80,000円分)		
5,000株~	100円券×1,000枚 (100,000円分)		

株主さまご優待券のご利用方法
 1回のご精算が1,000円(税込)以上の場合につき、1,000円毎に1枚ご利用できます。

贈呈時期
 毎年6月下旬(有効期限:翌年6月30日まで)

■ 長期保有株主優待制度

8月末日に1年以上、当社株式を300株以上保有していただいている株主さまを対象として、新米を贈呈しております。

対象株主

300株以上を継続して1年以上保有されている株主さま
 (毎年8月末日の基準日時点において、継続して1年以上、同一名義で保有されている株主さま)



贈呈商品

300株以上保有・・・新米2kg
 500株以上保有・・・新米5kg

贈呈時期

毎年11月下旬

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により下記ホームページに掲載します。 https://www.the-fuji.com ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
及び照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にお申出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記照会先までご連絡ください。

【特別口座の口座管理機関変更について】

2016年5月20日より、特別口座の口座管理機関を、三井住友信託銀行株式会社に変更いたしました。

会社概要

会社名	株式会社フジ
設立	1967年9月12日
本社所在地	広島県広島市南区段原南一丁目3番52号
本店所在地	愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
代表者	代表取締役社長 山口 普
資本金	220億円
事業内容	総合小売業 (食料品、衣料品、日用雑貨品等の小売販売)
ホームページアドレス	https://www.the-fuji.com/company/

店舗数 (2024年2月末現在)

 **105店**

 **139店**

 **198店**

 **45店**

**フジ子会社
運営店舗 27店**

計 514店